

一、カラ

- (イ) サイズノ採り方ハ一方ノ穴ノ外端ヨリ他ノ穴ノ中央迄トス
- (ロ) 穴ノ長サハ十二ミリメートルトス
- (ハ) サイズハ一センチメートル上リトス (子供用ハ一センチメートル下リトス)
- (ニ) ソフトカラーモ同前トス
- (イ) サイズノ採り方ハ一方ノ穴ノ外端ヨリ外ノ穴ノ外端三ミリメートル内迄トス

- (ロ) 穴ノ長サハ十二ミリメートルトス
- (ハ) サイズハ一センチメートル上リトス
- 三、カラハ内法、ワイシャツハ外法ヲ計ルモノトス
- 四、稱呼ハ35.36.37.38.ノ如クシテ附記セズ恰モ番號ト同様トスルモ過渡期中ニアリテハ舊方ヲ併記スルモ差支ナシ

五、新舊對照表

新	舊
35	13½
36	14
37	14½
38	15
39	15½
40	15¾
41	16
42	16½

昭和五年八月十二日
商第六七六號内務部長通牒

〔附圖令〕

市町村長宛

洋品雜貨類ノサイズラメートル法ニ改訂ノ件
標記ノ件ニ關シテハ本年二月二十日ノ商第一三五四號(縣公報第七六五號
登載)ヲ以テ及通牒候處商工省ニ於テハ今般更ニバンド、サスペンダー
及靴下ノ三種ニ付別記ノ通り決定シ即時新製品ヨリ實施シ其ノ他ハ舊グモ
本年未迄ニ諸般ノ準備ヲ了シ昭和六年一月一日ヨリ實行ノ趣ニ付テハ御部
内ニ於ケル需給兩方面ニ周知方御取計相成度
追テ本件ハ貴市(町村)受持度量衡指導委員ニハ特ニ徹底セシメラレ度申
添候

記

- 一、サスペンダー
サスペンダーノサイズノ採り方ハ兩端ホダン止穴ノ外端ヨリ外端ヲ測リ
タル對角線ノ長サトス



備考、對角線ノ長サヲ測ル場合金具ニ依リ長短ヲ調整スルモノハ金具延
シタル長サ、ゴムニ依リ伸縮スルモノハ平ニ置キタル長サヲ以テ
其ノ長サトス

一、靴下

イ、靴下サイズノ採り方ハ靴下爪先ヨリ踵ミシンノ末端マテノ長サトス

〔附圖令〕

ロ、サイズハ一糎上リトス

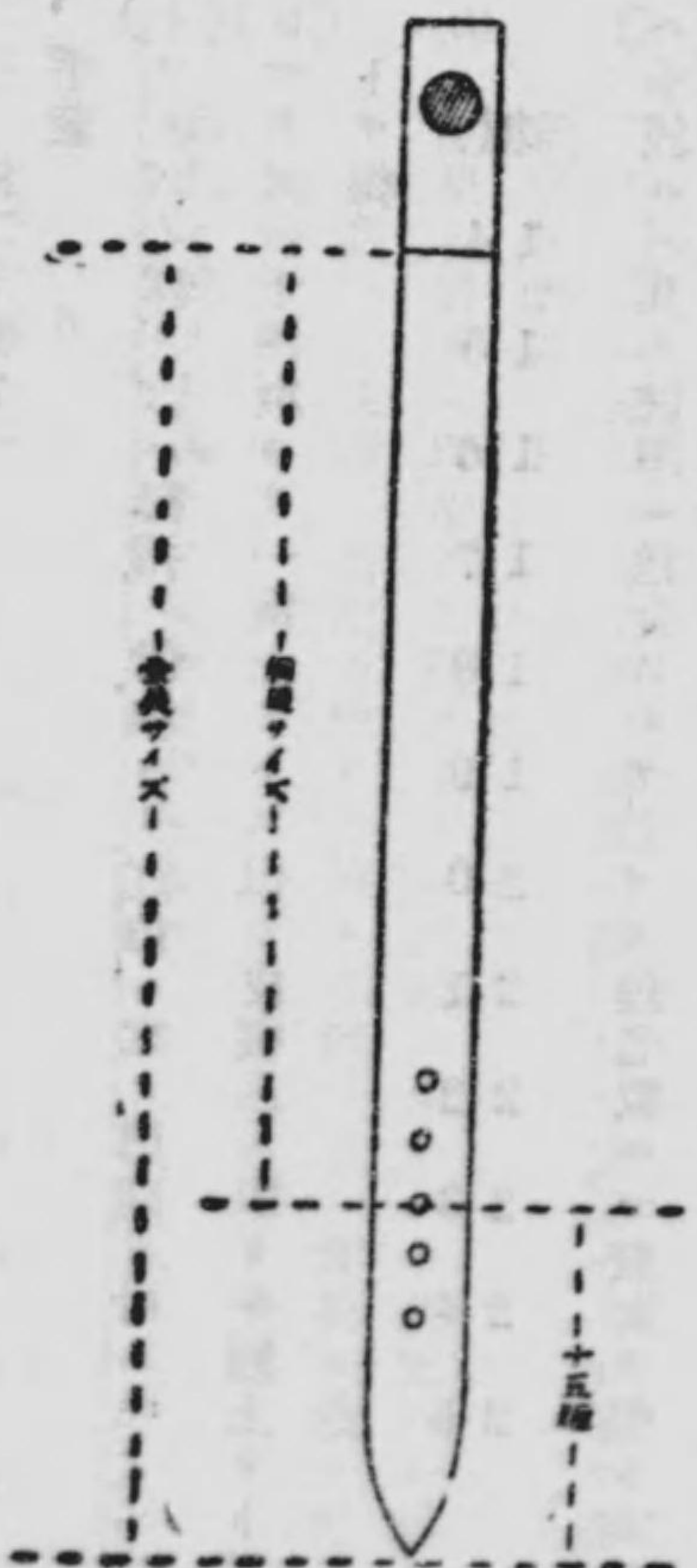


靴下ノサイズ

改正 サイズ	換算數		從來ノサイズ ズノ對稱	
	cm	inch	inch	弱 強
10	3.93	4		弱
11	4.33	4½		弱
12	4.72	4¾		強
13	5.11	5		
14	5.51	5½		
15	5.90	6		
16	6.29	6½		弱
17	6.69	6¾		強
18	7.08	7		
19	7.48	7½		
20	7.87	8		弱
21	8.26	8½		強
22	8.66	8¾		強
23	9.05	9		
24	9.44	9½		弱
25	9.84	10		弱
26	10.23	10½		強
27	10.62	10¾		強
28	11.02	11		
29	11.41	11½		弱

一、バンド (男子、婦人及小供用ヲ含ム)
バンドサイズノ表記ハバツクル付根ヨリ測リタル糎ヲ單位トシタル全長
トス

但シ内地向製品ニ限り開題ノサイズトシテ全長ヨリ十五糎ヲ減シタル長
サヲ併記スルコトヲ得
サイズノ種類ハ五、十ノ如ク五糎上リトス
(一糎以内ノ公差ヲ認ム)



● 洋服ノサイズラメートル法ニ改訂ノ件

昭和九年四月五日
商第三四〇號内務部長通牒

洋服ノサイズニ吋又ハ尺、寸等ヤードボンド法又ハ尺貫法ニ依ル單位ヲ用
フルモノ有之候處之等ヲ速カニメートル法ニ依ルサイズニ改ムルコトハメ
ートル法實行促進上最モ必要ナリト認メ今般商工省工務局主宰ノ下ニ關
東、關西兩地方ノ主ナル百貨店協議ノ結果左記ノ通りメートル法ニ依ル洋服
サイズヲ協定シ本年九月一日ヨリ實行スルコト、相成候ニ付テハ御部内當
業者ニ對シ右決定サイズヲ採用致シ候標御取計相成度

記

メートル法ニ依ル洋服ノサイズ

一、小學生(男)洋服
 (イ) サイズノ採り方ハ仕立上リ洋服ノ上胸(腕ノ付根箇所)ノ周圍ヲ計ルモノトス
 (ロ) サイズハ六歳ヨリ十四歳迄ノ年齢サイズトス
 (ハ) 稱呼ニ對スル上胸ノサイズ

上胸	稱呼
70	6號
72	7
74	8
76	9
78	10
80	11
82	12
84	13
86	14

(ニ) 稱呼ハ六歳用ヲ六號、七歳用ヲ七號ト稱シ以下之ニ準ス
 中學及大學生(男)洋服

(イ) サイズノ採り方ハ仕立上リ洋服ノ上胸(腕ノ付根箇所)ノ周圍及カラ(末端ヨリ末端迄ノ長サ)ノ長サヲ計ルモノトス
 (ロ) 上胸及カラノサイズ

上胸	カラ
80	32
83	33
86	34
89	35
92	36
95	37
98	38
101	39

(ハ) サイズハ無名數ニテ表示シ稱呼ハ上胸ノサイズノ無名數トス

〔附則令〕

●手袋ノサイズヲメートル法ニ改訂ノ件

昭和十年一月二十九日
 九商第一八〇四號 經濟部長通牒

市町村長宛

今般商工省ニ於テハ關東關西兩地方ノ主ナル百貨店等ト協議ノ結果左記ノ通り手袋ノサイズヲメートル法ニ改訂ノコトニ協定シ昭和十年春物ヨリ實行致スコト、相成候ニ付テハ貴管内當業者竝ニ一般使用者ニ對シ周知方可能御取計相成度
 追テ本件ハ貴市町村受持度量衡指導委員ニ對シ指導事項トシテ示達シ置カレ度申添候

商工省裁定

一、手袋

(イ) サイズノ採り方ハ拇指ノ附根ヨリ直角ニ掌ノ周圍ヲ計ルモノトス
 (ロ) サイズハ二十四種ヨリ一種上リトス但シ皮製品ニ限り半種上リト爲スコトヲ得

種
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25

(ハ) 手袋ニハ其ノ使用ニ適合スルサイズヲ無名數ニテ表記ス但シ太絲織出製品ニ限りサイズヲ表記ヲ省略スルコトヲ得

二、手袋ノサイズハ昭和十年春物ヨリ實行ス但シ同年冬物迄ハ從來ノサイズヲ併記スルコトヲ得

一、十三種以下及二十六種以上ノサイズハ表記セザルモノトス

〔附則令〕

二、太絲織出製品トハ毛絲製品及軍手ヲ謂フ

●足袋ノサイズヲメートル法ニ改訂ノ件

昭和八年三月十四日
 商第三一六號 内務部長通牒

市町村長宛

今般商工省ニ於テハ關東、關西兩地方ノ主ナル百貨店並足袋製造業者等ト協議ノ結果左記ノ通り足袋ノサイズヲメートル法ニ改訂ノコトニ協定シ來ル四月十一日ヨリ實行致スコト、相成候ニ付テハ貴管内當業者竝ニ一般使用者ニ對シ之方周知方可能御取計相成度

商工省裁定

一、足袋

(イ) サイズノ採り方ハ仕立上リ足袋底親指ノ末端縫目ヨリ踵中央部末端縫目迄ノ長サトシ其ノ長サハ種ニテ之ヲ表記ス
 (ロ) サイズハ十四種ヨリ一種上リトシ二種ヨリハ半種上リトス
 (ハ) サイズノ表記及稱呼ハ無名數トス

(1) 當分ノ間一三・五種、一四・五種及二〇・五種ノサイズヲ用フルコトヲ得

(2) 二年以内ニ限り現在ノサイズノ採り方ニ依ル文數ヲ併記スルコトヲ得

二、地下足袋
 サイズノ採り方其ノ他ハ足袋ニ準ズ

第十二編 勸業 第十一章 度量衡

附記

足袋ノサイズニ關シ關東並關西ニ於ケル百貨店及百貨店關係足袋製造業者ノ決議

(1) 足袋ノ袋及帶ニハ關東、關西共昭和八年四月十一日ヨリメートル法ニ依ルサイズヲ記載スルコト

(2) 「コハセ」ニ刻ミタル文數ハ關東、關西共可成速ニメートル法ニ依ル數字ニ改ムコト

(3) 關東ニ於テハ現在ノ文數ヲメートル法ノサイズト併記スル場合ノ種ト文數トノ比較ハ左記ニ依リ二四・五種以上ハ實數ニ最モ近キ文數ヲ併記スルコト

關西ニ於テハ現在ノ文數ヲ併記セス

種	文數
13.5	5.5
14.5	6.0
16.0	6.5
17.0	7.0
18.0	7.5
19.0	8.0
20.5	8.5
21.0	8.7
22.0	9.0
22.5	9.3
23.0	9.5
23.5	9.7
24.0	10.0

(4) 關西ニ於テハ二二・五種二三・五種等半種ノ端數アルモノハ二二・五、二三・五ト表記ス(但シ呼ア時ハ二二半、二三半ト呼ア)

(5) 足袋カバノサイズハ關東、關西共使用上ニ適合スルサイズヲメートル法ニテ表記ス

●藥品類ノ計量ニ用ウル單位ノ件

青年會	
在郷軍人會	
婦人會、處女會	
其ノ他ノ團體	
計	

備考
一、組合ノ定款又ハ團體規約ヲメートル法ニ改訂シタルモノト雖現在實行ノ數ニ加フルコト
一、實行者ノ有無ニ拘ラズ現在數ヲ掲グルコト
一、摘要ニハ實行セル點ヲ詳細記載スルコト

〔第三號表〕 度量衡法施行令ノ事業方面ニ於ケルメートル法實行調

事業別	現在數	現在實行セル事業者數	摘要
電氣事業			
瓦斯事業			
水道事業			
原動機ヲ用ウル運輸事業			
鑛業法ノ適用ヲ受クル事業			
醫業			
調劑業			

〔附圖令〕

機械工業	
化學工業	
電爐製品製造業及金屬精鍊業	
雜工業	
食料品製造業	
計	

備考
一、第七表ノ八中(一)ヨリ(八)マテヲ機械工業(九)ヨリ(二十四)マテヲ化學工業(二十五)ヨリ(三十)マテヲ食料品製造業(三十一)(三十二)ヲ雜工業トス
一、電氣事業ハ電氣事業法(明治四十四年三月三十日)ニ依ル事業者ヲ掲ゲ工場、發電所、變電所等ハ其ノ所屬スル本店又ハ支店ニ包括スルコト
一、瓦斯事業ハ瓦斯事業法(大正十二年四月十日)ニ依ル事業者ヲ掲ゲ工場供給所出張所等ハ其ノ所屬スル本店又ハ支店ニ包括スルコト
一、水道事業ハ水道條例(明治二十三年二月十三日)ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受ケタル事業者ヲ掲グルコト
一、原動機ヲ用ウル運輸事業ハ電車(ケーブルカーモ含ム)、汽車、原動機ヲ用ウル船舶、乗用及貨物自動車航空機ヲ以テ運輸事業ヲ行フモノヲ掲ゲ(國營ヲ除ク)工場出張所等ハ其ノ本店又ハ支店ニ包括スルコト

〔附圖令〕

一、鑛業法ノ適用ヲ受クル事業ハ鑛業中ノモノヲ各鑛區別ニ掲グルコト
一、醫業ハ醫師法(明治三十九年五月二日)齒科醫師法(明治三十九年五月二日)獸醫師法(大正十五年四月七日)ニ依リ登録シタルモノヲ掲グルコト
一、調劑業ハ藥劑師法(大正十四年四月十四日)ニ依リ藥局ヲ設ケアル賣藥商ヲ掲グルコト
一、本表中機械工業以下ノモノニ付テハ工場別ニ掲グルコト
一、實行者ノ有無ニ拘ラズ現在數ヲ掲グルコト
一、摘要ニハ實行セル點ヲ詳細記載スルコト

〔第四號表〕 商業方面ニ於ケルメートル法實行調

商業別	現在數	現在實行者數	摘要
白米商			
雜穀商			
麵類商			
酒類商			
味噌、醬油商			
鹽商			
砂糖商			
菓子商			

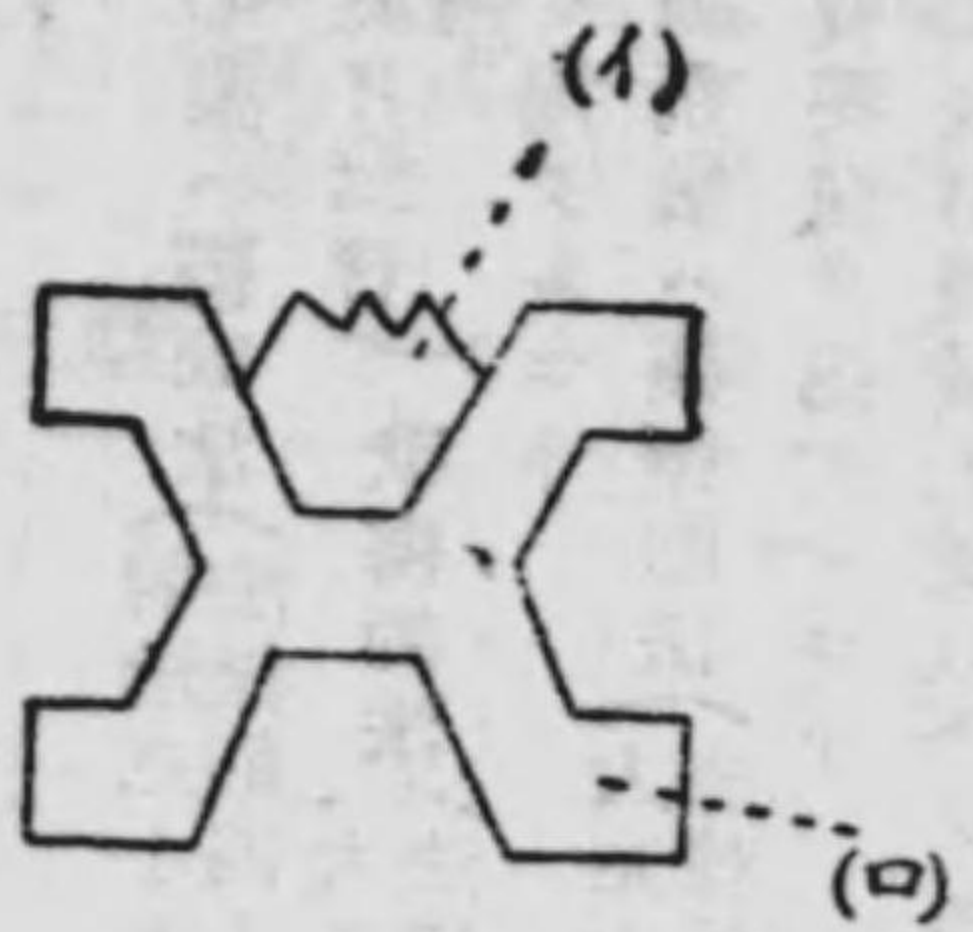
茶商	
牛乳商	
鶏卵商	
肉類商	
石炭、薪炭商	
油商	
吳服太物商	
綿商	
絲商	
羅紗商	
乾物商	
漬物商	
鮮魚商	
青物商	
材木商	
金物商	
計	

備考

- 一、一營業者ガ本表商業別欄列記ノ數種商業ヲ營ム場合ニハ各種商業別ニ區分記載スルコト(實行セザルモノト雖現在數ニ掲グルコト)
- 一、本表商業別欄列記ノ一商業ヲ營ムモノガ其ノ商品ノ一種ヲメートル法ニ依リ販賣スル場合ト雖實行者トシテ掲グルコト
- 一、酒類商ニハ味淋、味噌、醬油商ニハ酢、菓子商ニハ食パン、絲商ニハ毛絲及乾物商ニハ鹽物、鯉節、小麥粉、コーヒー等ヲ包含セシムルコト
- 一、摘要ニハ主トシテ商品ノ建目及容器包裝ニ關スル事項ヲ記載スルコト

●度量衡指導委員ノ職務上佩用スベキ徽章

昭和五年三月二十日
静岡縣告示第百七十七號



縦十一耗
横十三耗
(イ) 群青色
(ロ) 淡綠色
純銀總七寶製

〔静岡令〕

●度量衡指導委員ニ關スル件

昭和五年五月十日
四商第六〇七號内務部長通牒

- 一、指導委員ニシテ辭任セントスル場合ノ手續及當該市町村長ノ取扱方ニ關シテハ別段ノ規定ナキ爲其ノ取扱區々ニ互レルヲ以テ今般左記ニ依リ取扱フコトニ決定候
- 一、指導委員ニシテ辭任セントスル事由ニ依リ辭任セントスルトキハ知事宛ノ解囑願ヲ受持區市町村長ニ提出ノコト
- 二、指導委員ハ目下委員自體ノ訓練時代ト見ルヘク從テ短期間内ノ交迭ハ將來ノ效果ヲ傷クル虞アルモノト認メラル、ヲ以テ好マシカラサル事情ノ如何ニ依リテハ解囑モ亦止ムヲ得サルニ依リ市町村長ガ委員ヨリ解囑願ヲ受理シタル場合ハ其ノ事由ヲ調査シ解囑願ヲ附シ報告ノコト
- 三、前項報告ト同時ニ後任推薦ノコト

八三四

〔静岡令四七號〕

第十二章 氣象

●〔庵原郡清水町〕清水受新田ニ暴風標設置

明治十七年十二月十三日
静岡縣告示第百四十五號

當管下般河國庵原郡清水町受新田二百八番地ニ於テ暴風標ヲ建設シ明治十七年十二月二十日ヨリ暴風警報ノアル毎ニ信號ヲ揭示ス

●地方警報信號標設置

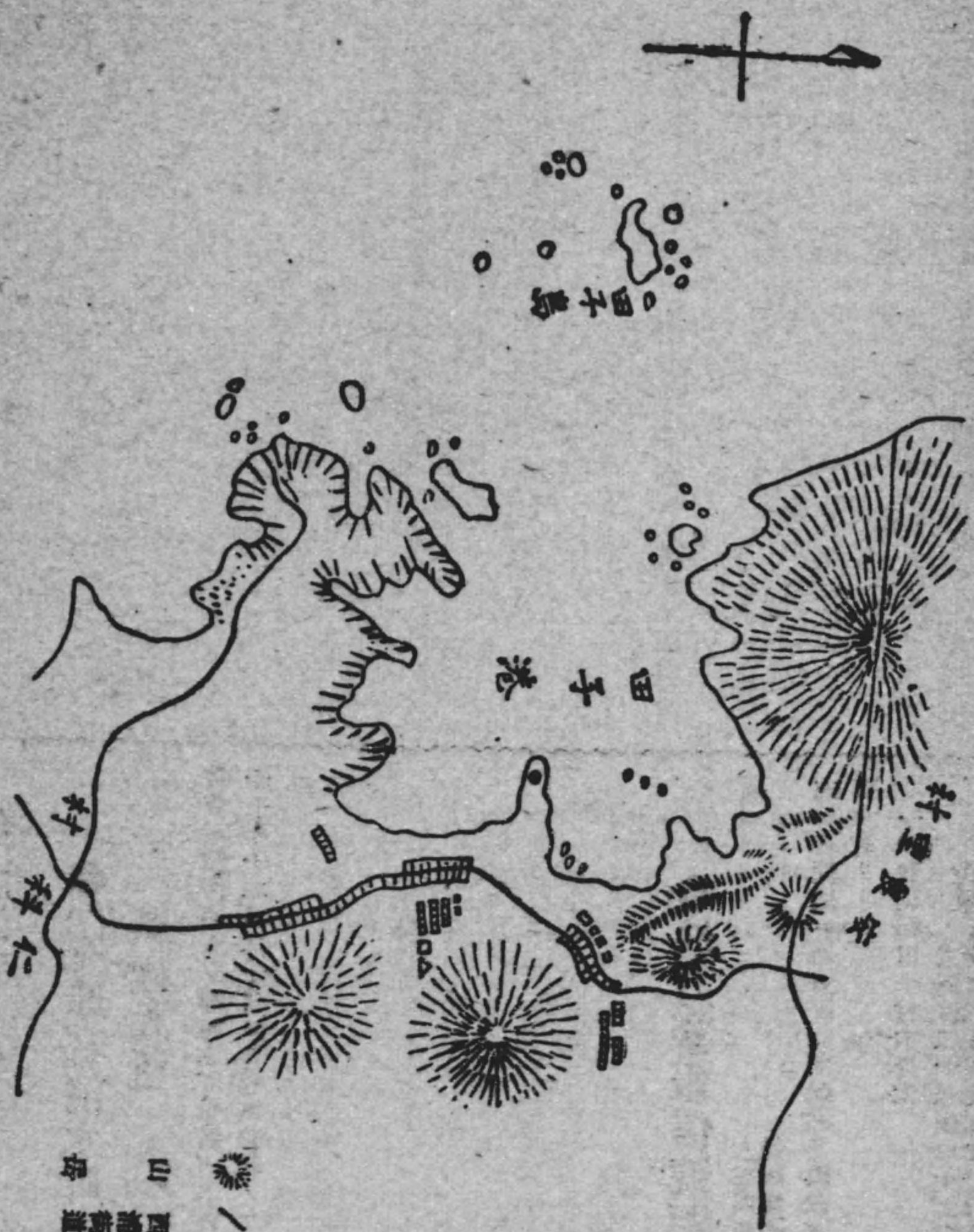
大正四年六月四日
静岡縣告示第百六十八號

左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正四年六月十三日ヨリ開始ノ儀許可シタリ

一、賀茂郡田子村字唐太

位置 東經百三十八度四十六分
北緯三十四度四十一分十一秒

八三五



凡例
 家 〇
 信號標 □
 村役場 △
 小學校 ◇
 町道 〰
 山 〰
 母

伊豆郡伊豆子村大字井田子字原大
 警察信號標設置地附近地形圖

八三六(自八三七
 至八四七號)

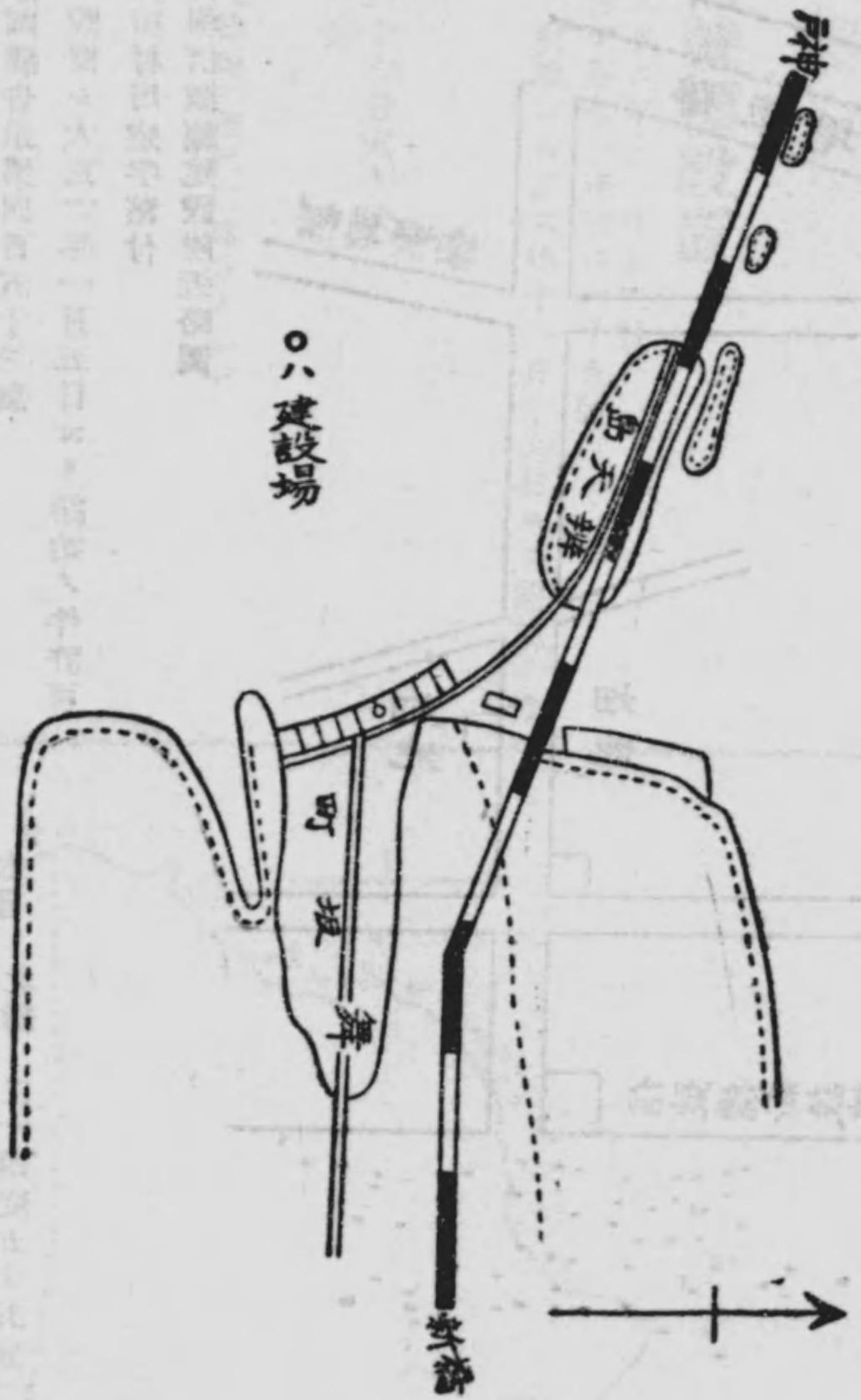
【伊豆令七】

●地方警報信號標設置

大正三年七月二十一日
 静岡縣告示第二百二十三號
 左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設立シ本年七月十六日ヨリ開始ノ儀許可セ

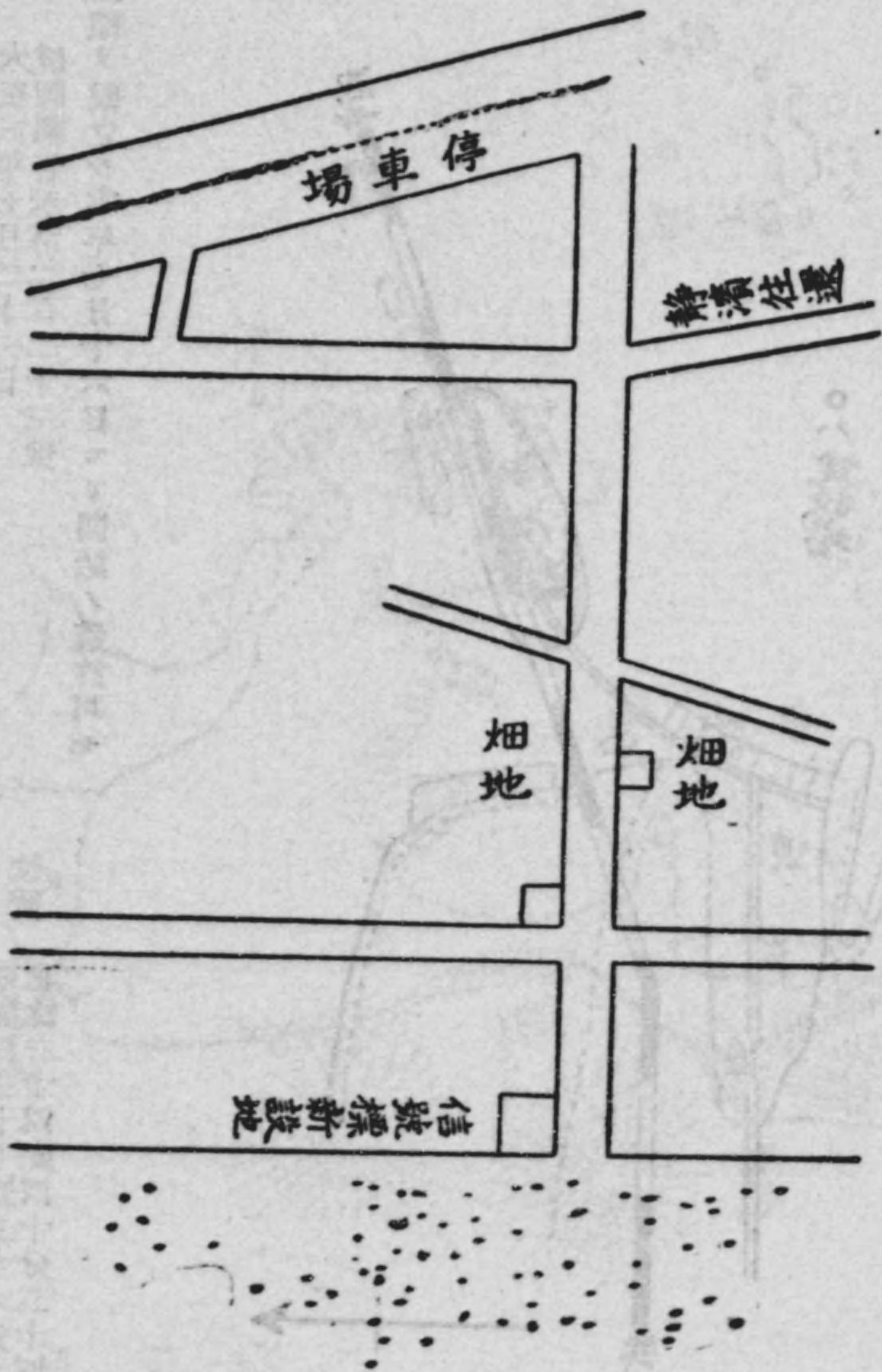
【伊豆令七】

一、濱名郡舞坂町
 位置 東經百三十七度三十六分二十五秒
 北緯三十四度四十分五十四秒



●地方警報信號標設置

大正五年十二月二十九日
靜岡縣告示第四百五十三號
左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正六年一月五日ヨリ開始ノ件許可
安倍郡長田村用宗字濱付
暴風警報信號標建設附近略圖



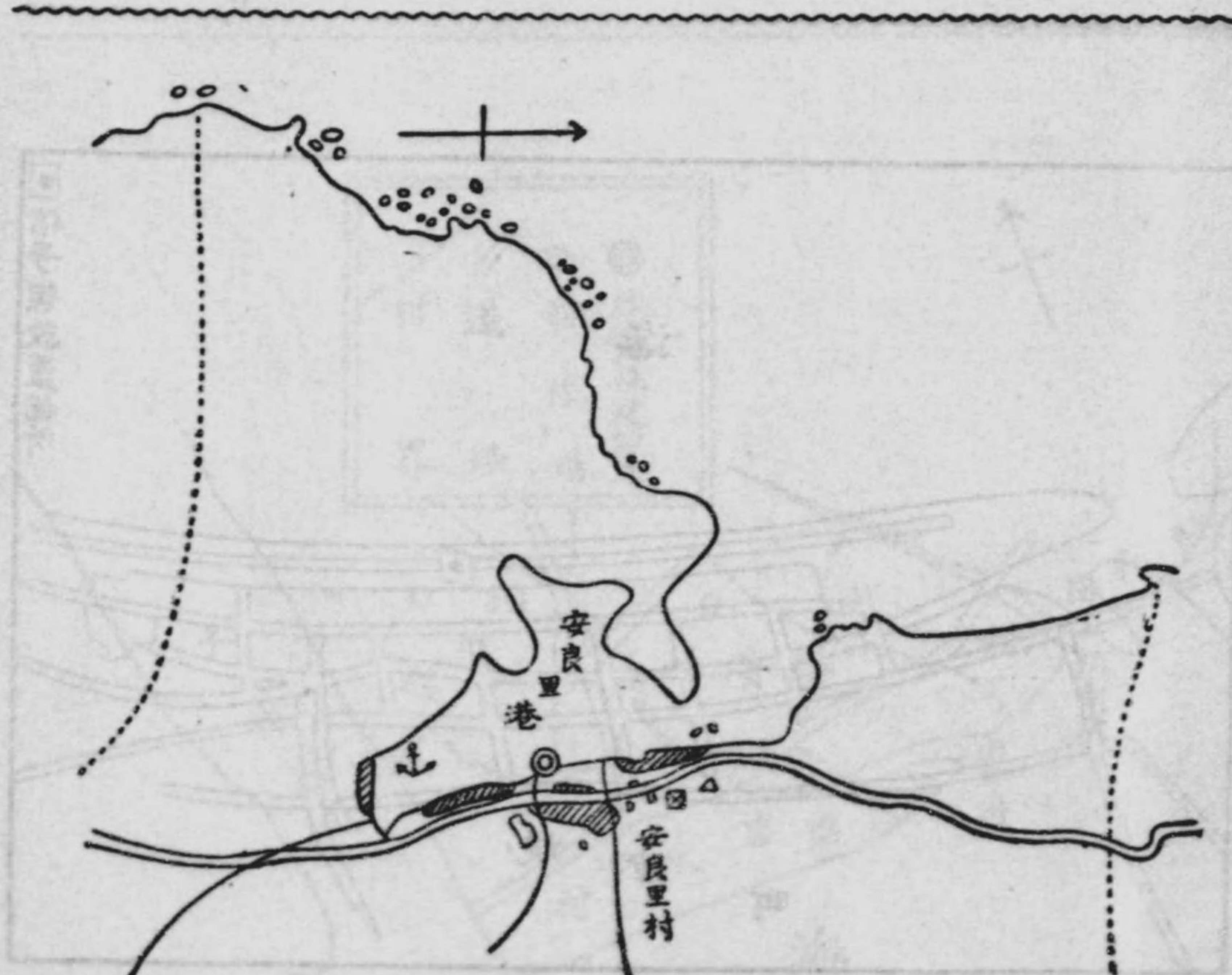
シタリ
一、安倍郡長田村用宗字濱付
位置 東經 百三十八度二十一分五十五秒
北緯 三十四度五十五分二秒

〔靜岡令〕

●地方警報信號標設置

大正六年十一月十三日
靜岡縣告示第三百六十九號
左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正六年十一月十九日ヨリ開始ノ件許可シタリ
一、賀茂郡安良里村
位置 東經百三十八度四十六分五十秒
北緯三十四度五十分
靜岡縣賀茂郡安良里村
警報信號標建設地附近地勢圖(縮尺二萬分ノ一)

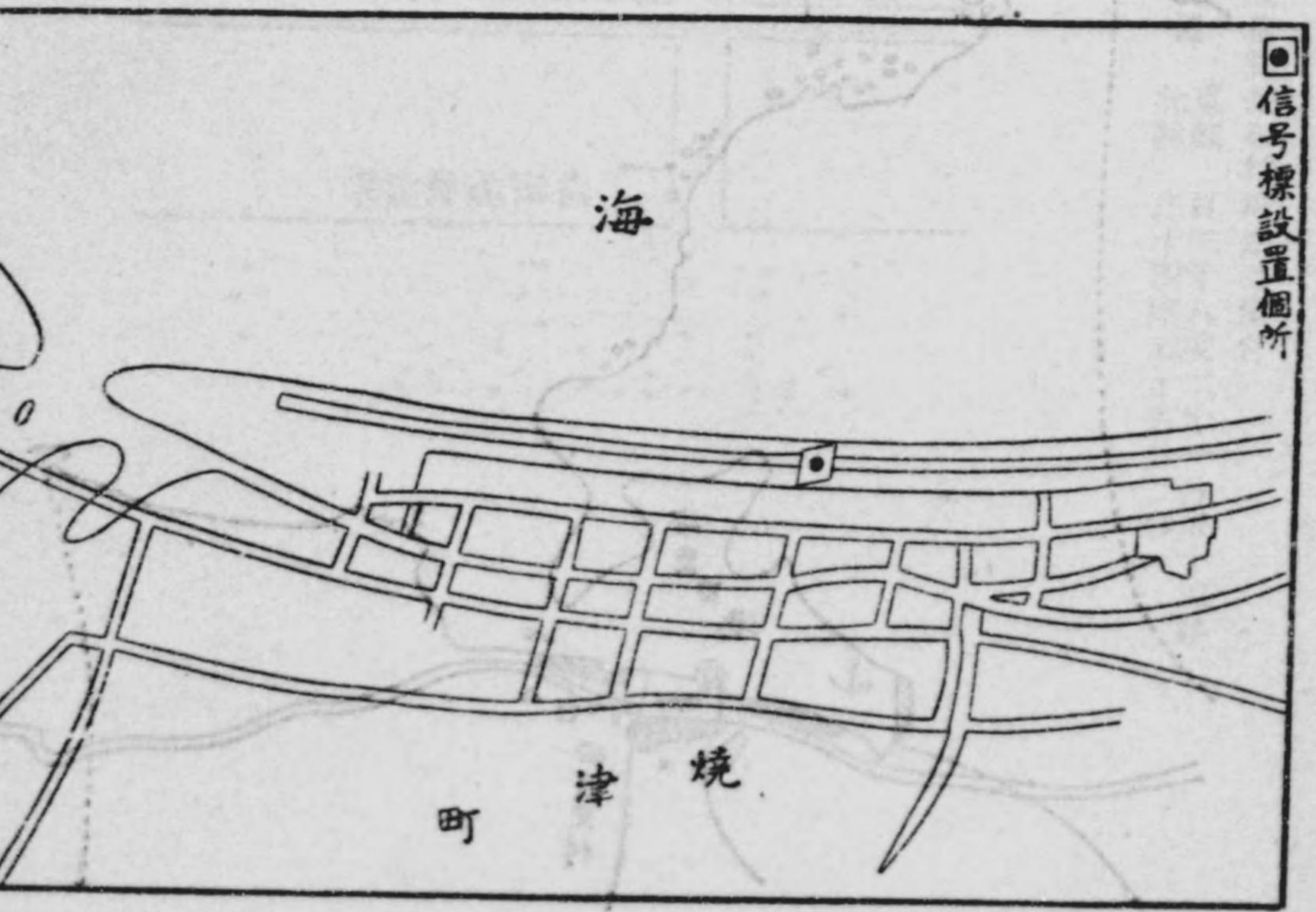
- 凡例
- 人家
 - 信號標
 - 村役場
 - △ 小学校
 - ∴ 村界



此式警報信號標設置
 大正八年五月十日ヨリ開始ノ件許可
 一、志太郡焼津町城之腰

●地方警報信號標設置

大正八年五月二日
 静岡縣告示第百六十八號
 左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正八年五月十日ヨリ開始ノ件許可
 シタリ
 一、志太郡焼津町城之腰



信号標設置箇所

〔静岡令〕

●地方警報信號標設置

大正十年十一月十五日
 静岡縣告示第百八十九號
 左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正十年十一月十七日ヨリ開始ノ件
 認可シタリ
 一、志太郡吉永村高新田海岸

第十二編 勸業 第十二章 氣象

位置 東經百三十八度四十七分二
 北緯三十四度四十七分二



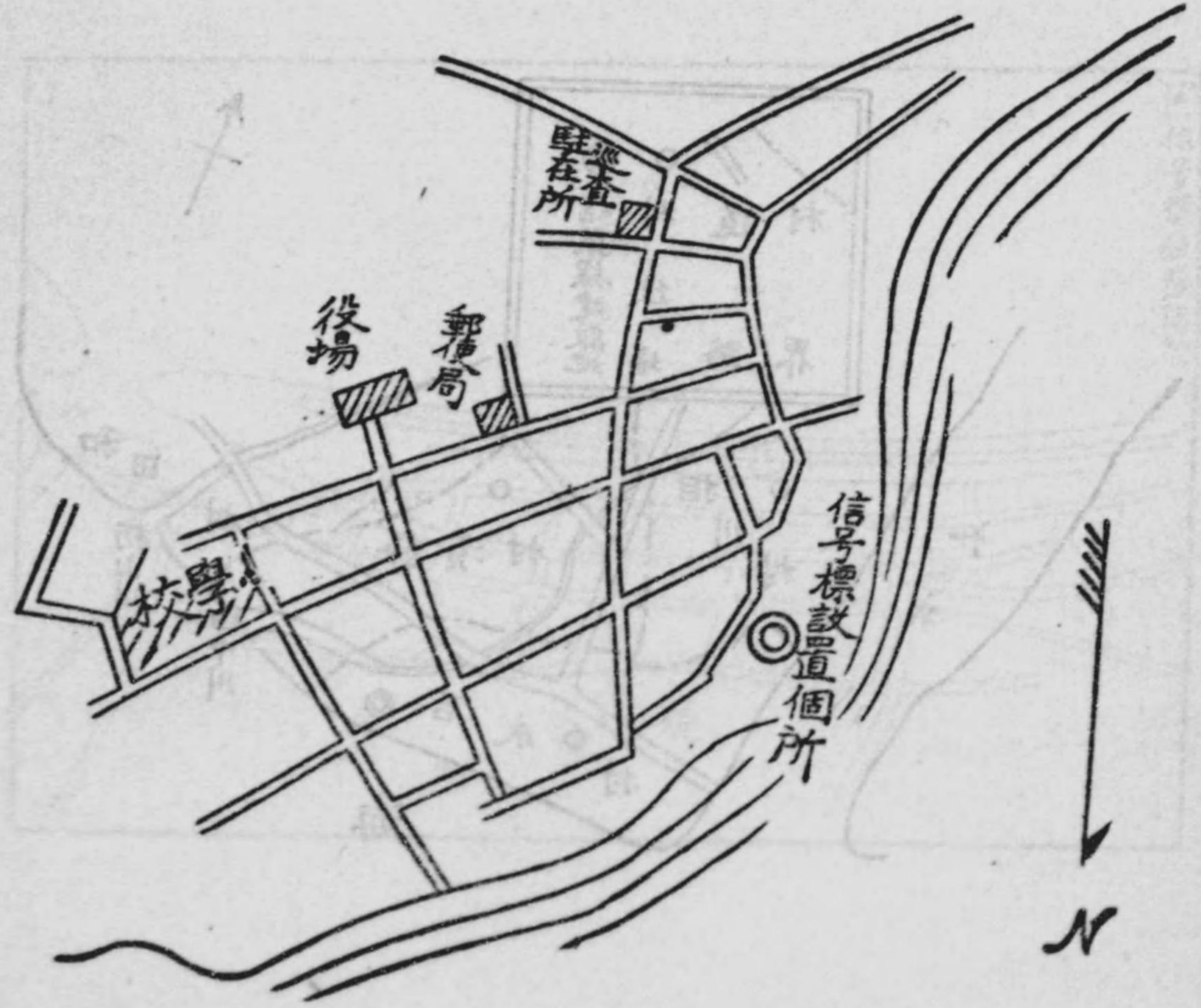
〔静岡令〕

一、本縣氣象台設置地
 一、本縣氣象台設置地
 一、本縣氣象台設置地

● 地方天氣豫報暴風警報信號標設置

左記ノ箇所ニ地方天氣豫報暴風警報信號標設置ヲ許可シ大正十二年七月二十五日ヨリ開始ス
 一、田方郡網代村
 位置 東經百三十九度五分三十四秒
 北緯三十五度二分四十二秒

靜岡縣田方郡網代村
 地方氣象信號標建設附近圖



一、田方郡土肥村
 位置 東經百三十八度四十五分
 北緯三十四度五十五分
 地勢

昭和三年一月二十八日
 靜岡縣告示第四十六號

〔靜岡令〕

田方郡土肥村土肥登木口國平ニ對シ左ノ箇所ニ地方天氣豫報暴風警報信號標設置ヲ認可シ昭和三年一月十五日ヨリ開始ス



1221

第十二編 勸業 第十二章 氣象

●地方警報信號標設置

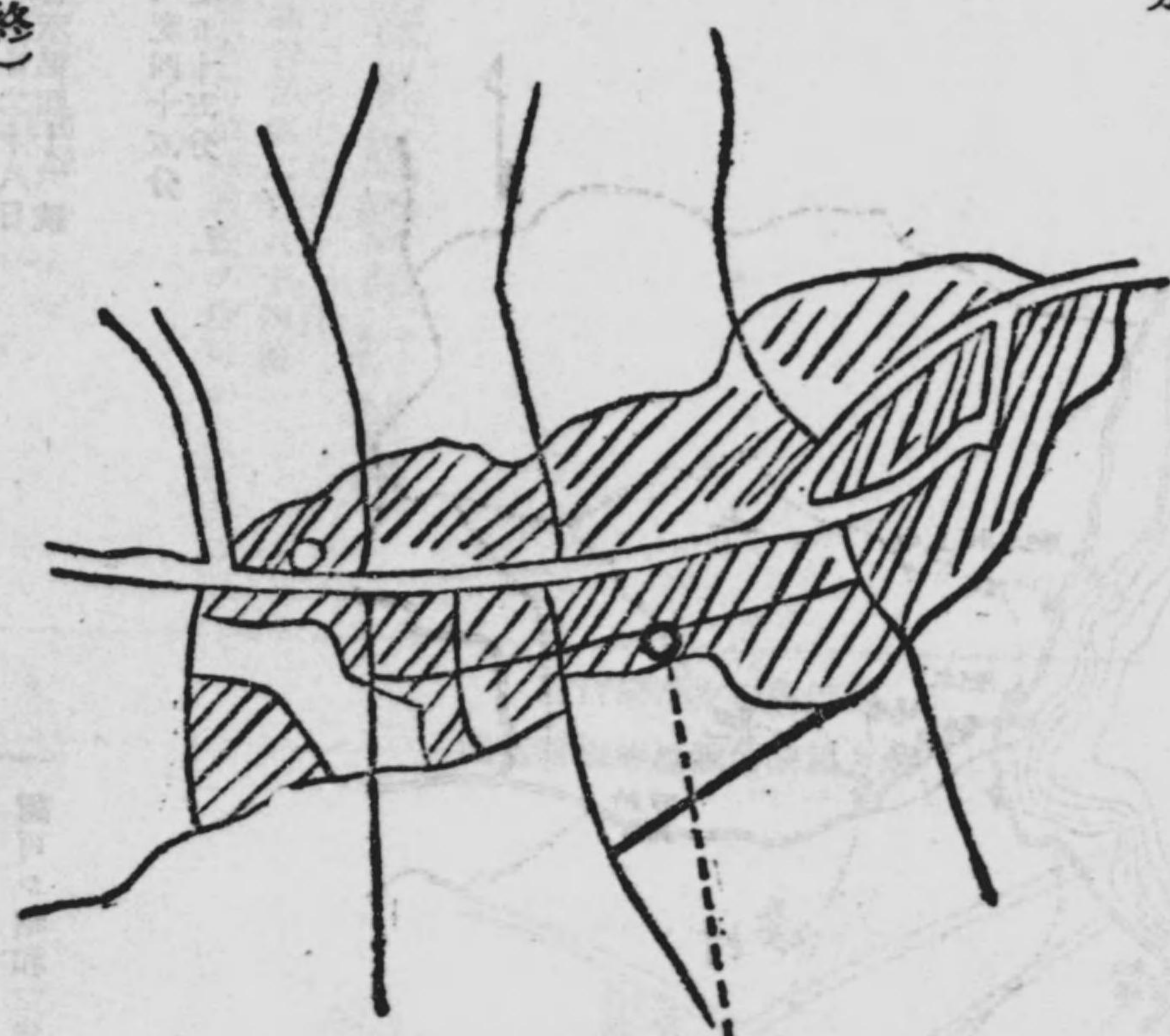
大正十三年十月十日
静岡縣告示第六百七十二號

位置 磐田郡福島村福田
東經百三十七度四十五分
北緯三十四度四十一分

八五二

左記ノ箇所ニ地方警報信號標ヲ設置シ大正十三年十月十九日ヨリ開始ノ件
許可シタリ

福島村福田



地方警報信號標建設箇所

〔静岡令〕

第十二編 勸業(終)

明治四十五年六月三十日初版發行
昭和十一年一月十二日改版印刷
昭和十一年一月十五日改版發行

帝國地方行政學會編纂

株式會社 帝國地方行政學會代表者

發行者 大谷仁兵衛

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印刷者 大谷保

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地

印刷所 行政學會印刷所

東京市花原區戸越町五〇五番地

靜岡縣
令規全集

發行所

東京市京橋區銀座西七丁目壹番地
振替口座東京一三番

株式會社 帝國地方行政學會

1221

1021
~~1021~~

1021

